



# 仙波糖化工業株式会社

証券コード：2916

2018年3月期 決算説明会

2018年6月1日

# 目次

---

<b>I. 2018/3期決算概況</b>	<b>P 2</b>
<b>II. 2019/3期業績見通し</b>	<b>P10</b>
<b>III. 企業価値向上に向けて</b>	<b>P14</b>
<b>(参考資料)</b>	<b>P27</b>

---

---

## **I . 2018/3期決算概況**

---

---

- 6.0%増収、28.6%営業増益。
- カラメル製品、粉末茶拡販に加え、健康食品の受注が好調。

(単位：百万円)

	2017/3期		2018/3期			
	金額	前年度比	金額	前年度比	期初予想	計画比
売上高	17,624	+1.9%	18,675	+6.0%	18,400	+1.5%
営業利益	720	+2.4%	926	+28.6%	750	+23.5%
経常利益	727	+9.9%	865	+18.9%	730	+18.5%
<small>親会社株主に帰属する</small> 当期純利益	439	+44.3%	569	+29.6%	440	+29.3%
一株純利益	38.62	-	50.05	-		
設備投資額	1,012	+470	785	△227		
減価償却費	780	△10	764	△16		
研究開発費	267	+4	283	+16		

# 製品区分別売上実績

【2018/3期実績】

## 自社商材、受託商材ともに堅調

- ▶ カラメル製品は、飲料向けやデザート向け需要堅調。
- ▶ 乾燥製品類は、粉末茶などのSD製品類の拡販でFD製品の落ち込みをカバー。
- ▶ 組立製品類は、健康食品の受注が拡大。
- ▶ 冷凍製品は、冷凍山芋・和菓子ともに堅調。

(単位：百万円)

	2017/3期		2018/3期		前年度比	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	増減額	伸び率(%)
連結売上高	17,624	100.0	18,675	100.0	+1,051	+6.0
カラメル製品	3,355	19.0	3,602	19.3	+247	+7.4
乾燥製品類	5,711	32.4	6,123	32.8	+412	+7.2
組立製品類	4,933	28.0	5,233	28.0	+300	+6.1
冷凍製品	2,315	13.1	2,462	13.2	+147	+6.4
その他	1,309	7.5	1,254	6.7	△55	△4.2
自社商材	10,592	60.1	11,406	61.1	+814	+7.7
受託商材	7,031	39.9	7,268	38.9	+237	+3.4

# 要約損益計算書

【2018/3期実績】

(単位：百万円)

	2017/3期		2018/3期		前年度比増減	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	伸び率
売上高	17,624	100.0	18,675	100.0	+1,051	+6.0%
売上原価	14,170	<b>80.4</b>	14,807	<b>79.3</b>	+636	+4.5%
売上総利益	3,453	19.6	3,867	20.7	+414	+12.0%
販管費	2,732	<b>15.5</b>	2,940	<b>15.7</b>	+208	+7.6%
営業利益	720	<b>4.1</b>	926	<b>5.0</b>	+206	+28.6%
営業外損益	6	0.0	△61	△0.3	△68	-
経常利益	727	4.1	865	4.6	+137	+18.9%
特別損益	△82	△0.5	△10	△0.1	+71	-
税引前利益	645	3.7	854	4.6	+209	+32.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	439	2.5	569	3.1	+130	+29.6%

## 営業外損益

営業外収益  
46百万円→54百万円  
営業外費用  
39百万円→116百万円

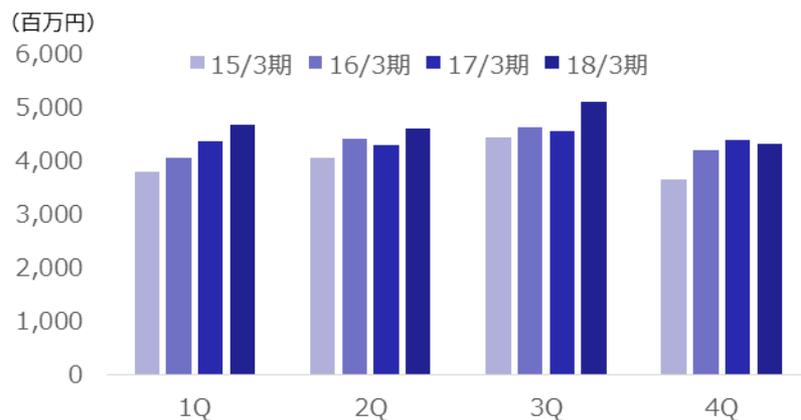
## 特別損益

特別利益  
無し →437百万円  
特別損失  
82百万円→447百万円

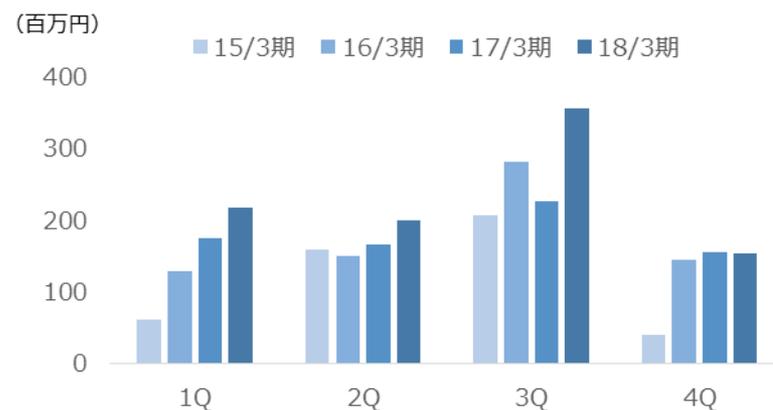
# 四半期業績推移

【2018/3期実績】

## 四半期売上高推移



## 四半期営業利益推移



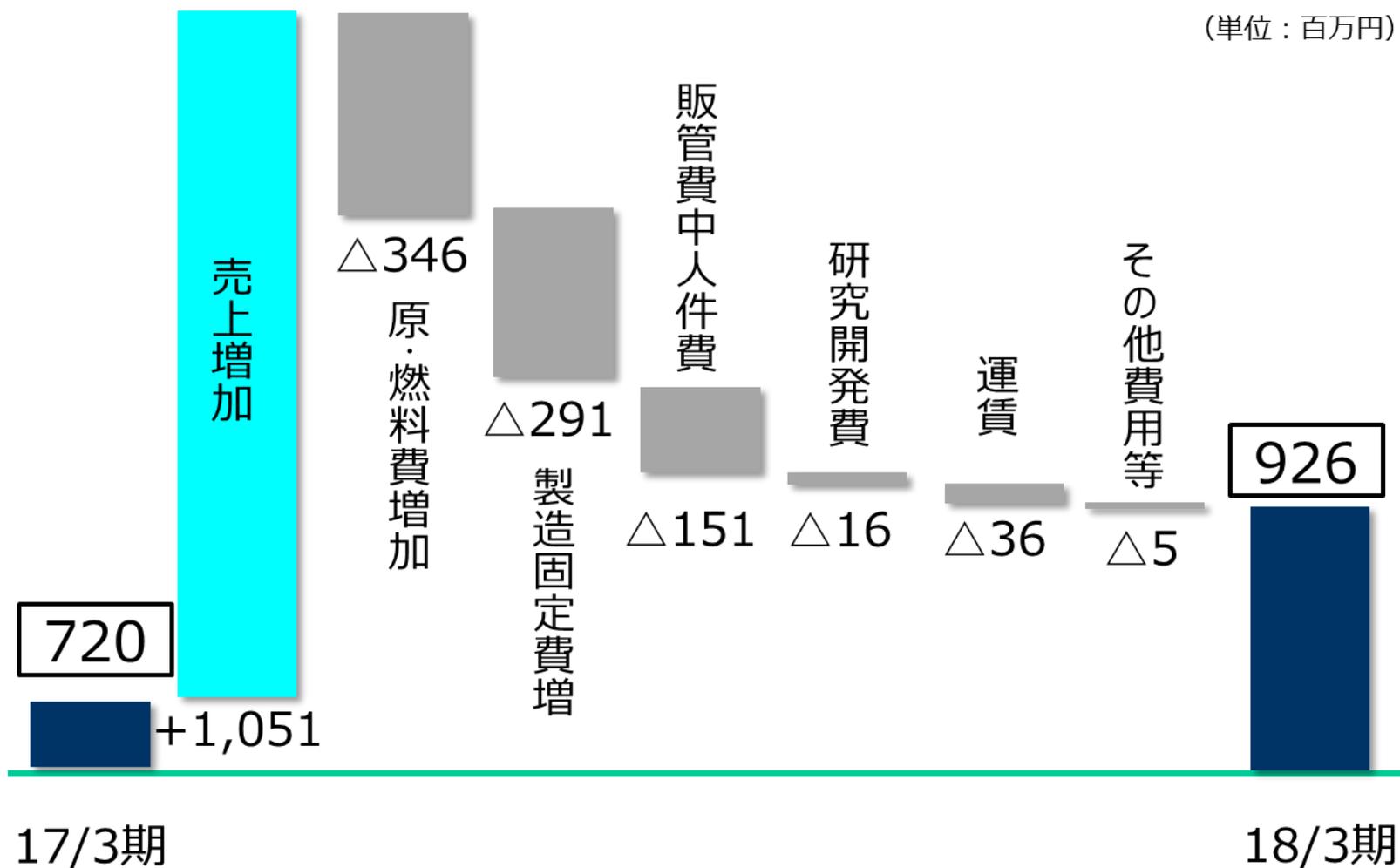
(単位:百万円)

	2016/3期				2017/3期				2018/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
連結売上高	4,064	4,415	4,625	4,190	4,371	4,303	4,549	4,399	4,665	4,594	5,100	4,315
カラメル製品	769	840	876	782	818	865	894	776	892	882	965	861
乾燥製品類	1,354	1,499	1,544	1,401	1,359	1,374	1,511	1,465	1,469	1,467	1,660	1,525
組立製品類	1,037	1,108	1,351	1,248	1,207	1,092	1,240	1,393	1,255	1,241	1,578	1,158
冷凍製品	579	644	476	453	647	666	533	467	692	734	551	483
その他	322	323	376	304	338	304	368	297	355	267	343	287
連結営業利益	129	150	280	143	174	165	225	155	217	199	356	153

# 営業利益増減分析

【2018/3期実績】

(単位：百万円)



# 要約貸借対照表

【2018/3期実績】

(単位：百万円)

	2017/3末	2018/3末	増減額
<b>流動資産</b>	<b>9,191</b>	<b>11,052</b>	<b>+1,860</b>
現金及び預金	1,870	2,016	+146
受取手形及び売掛金	4,050	4,498	+448
棚卸資産	2,940	3,931	+991
<b>固定資産</b>	<b>7,518</b>	<b>8,681</b>	<b>+1,162</b>
有形固定資産	5,519	6,553	+1,034
無形固定資産	58	254	+195
投資その他資産	1,940	1,873	△67
<b>資産合計</b>	<b>16,710</b>	<b>19,733</b>	<b>+3,023</b>
<b>流動負債</b>	<b>6,064</b>	<b>8,462</b>	<b>+2,398</b>
支払手形及び買掛金	2,179	3,163	+983
短期借入金	2,429	3,521	+1,092
<b>固定負債</b>	<b>2,619</b>	<b>2,686</b>	<b>+66</b>
長期借入金	1,247	1,089	△157
<b>負債合計</b>	<b>8,683</b>	<b>11,149</b>	<b>+2,465</b>
<b>純資産合計</b>	<b>8,027</b>	<b>8,584</b>	<b>+557</b>

**棚卸資産 +991百万円**  
 ・商品・製品 +610百万円  
 ・仕掛品 +81百万円  
 ・原材料・貯蔵品 +299百万円

**有利子負債 +934百万円**  
 ・短期借入金 +1,092百万円  
 ・長期借入金 △157百万円

⇒自己資本比率 43.0%  
 (△5.0ポイント)

# 要約キャッシュ・フロー計算書

【2018/3期実績】

(単位：百万円)

	2017/3期	2018/3期
<b>営業キャッシュ・フロー</b>	<b>1,202</b>	<b>1,108</b>
税金等調整前当期利益	645	854
減価償却費	780	764
売上債権の増減額 (△は増加)	△187	△229
棚卸資産の増減額 (△は増加)	78	△599
仕入債務の増減額 (△は減少)	124	209
法人税等の支払額	△269	△190
<b>投資キャッシュ・フロー</b>	<b>△722</b>	<b>△947</b>
有形固定資産の取得による支出	△781	△941
<b>財務キャッシュ・フロー</b>	<b>△262</b>	<b>△14</b>
有利子負債の純増減額	△121	130
配当金の支払額	△113	△114
<b>現金及び現金同等物 期中増減額</b>	<b>216</b>	<b>146</b>
<b>現金及び現金同等物 期末残高</b>	<b>1,855</b>	<b>2,001</b>

---

---

## **Ⅱ. 2019/3期業績見通し**

---

---

龍和食品の新規連結効果で増収率加速

- ▶ カラメル製品は、焙焼製品の拡販を見込む。
- ▶ 乾燥製品類は、粉末茶の伸長継続と龍和食品連結効果。
- ▶ 組立製品類は、健康食品の受注好調を見込む。
- ▶ 冷凍製品は、龍和食品連結効果と冷凍和菓子が堅調を想定。

(単位：百万円)

	2018/3期 実績	2019/3期 予想	前年度比	
			増減額	伸び率
連結売上高	18,675	<b>20,000</b>	+1,325	+7.1%
カラメル製品	3,602	3,800	+198	+5.5%
乾燥製品類	6,123	6,700	+577	+9.4%
組立製品類	5,233	5,300	+67	+1.3%
冷凍製品	2,462	2,900	+438	+17.8%
その他	1,254	1,300	+46	+3.7%

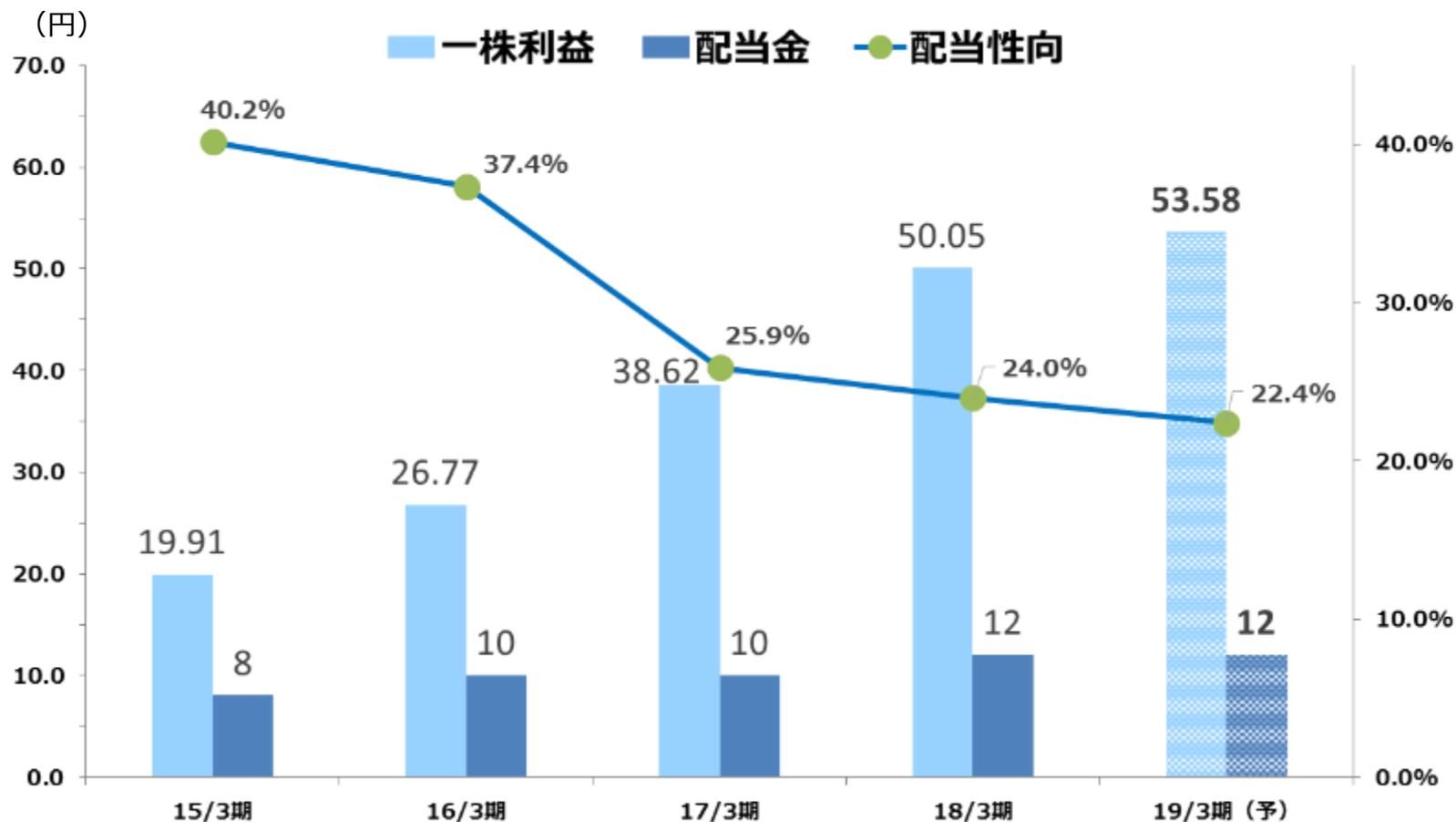
- 営業利益は、4期連続で最高益更新を見込む。
- 物流費や原燃料のコストアップは、増販効果で吸収へ。

(単位：百万円、円)

	2018/3期	2019/3期		
	実績	予想	増減額	伸び率
売上高	18,675	20,000	+1,325	+7.1%
営業利益	926	1,000	+74	+7.9%
経常利益	865	970	+105	+12.1%
<small>親会社株主に帰属する</small> 当期純利益	569	610	+41	+7.1%
一株純利益	50.05	53.58	+3.53	-
設備投資額	785	*940	+155	+19.7%
減価償却費	764	870	+106	+13.9%
研究開発費	283	305	+22	+7.8%

\*) 中国子会社2社の新工場関連の投資額計上は20/3期

## 19/3期の配当金は12円/株を計画



---

---

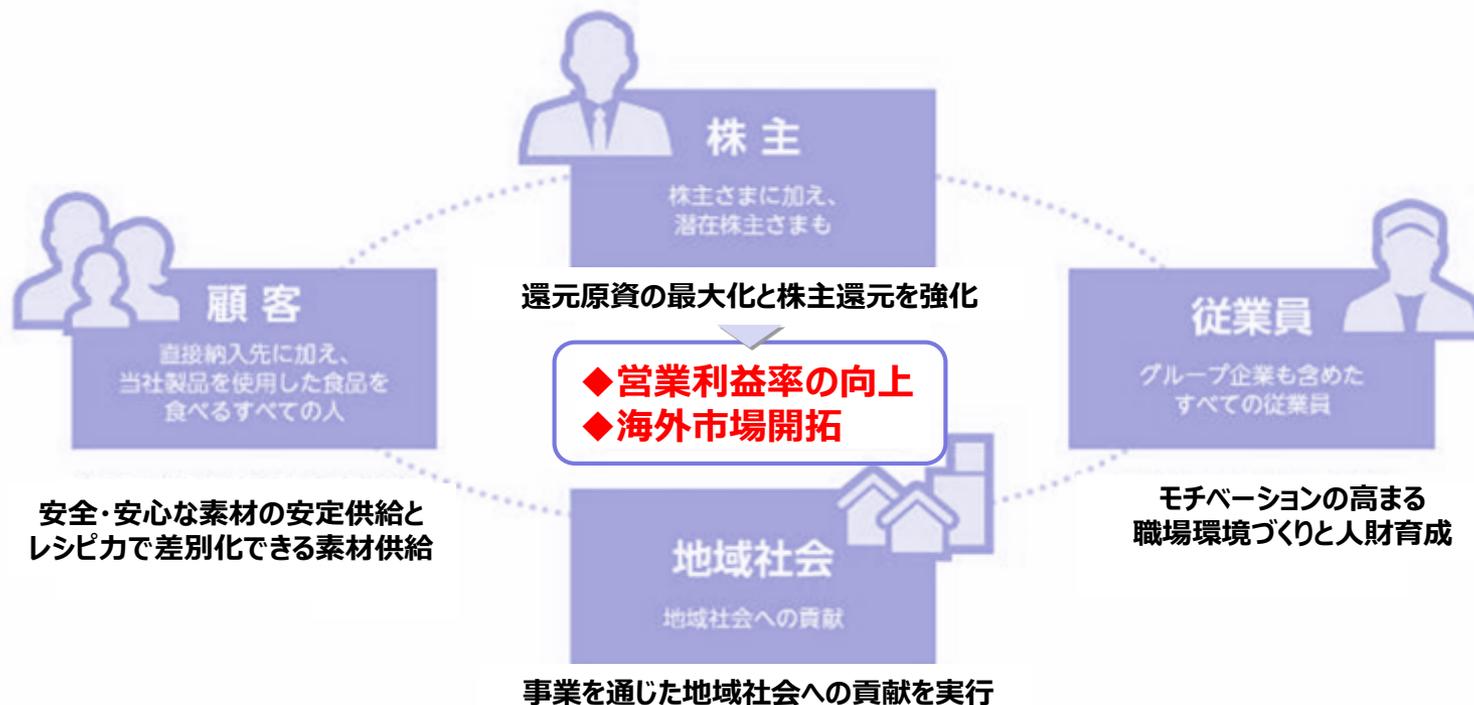
## **Ⅲ. 企業価値向上に向けて**

---

---

# すべてのステークホルダーからの信頼を拡大

## 100年企業に向けた強固な基盤を構築



より良いものを作り、顧客信頼度を向上させ、  
収益を伸ばすことで株主様、従業員、地域社会への還元を増やす



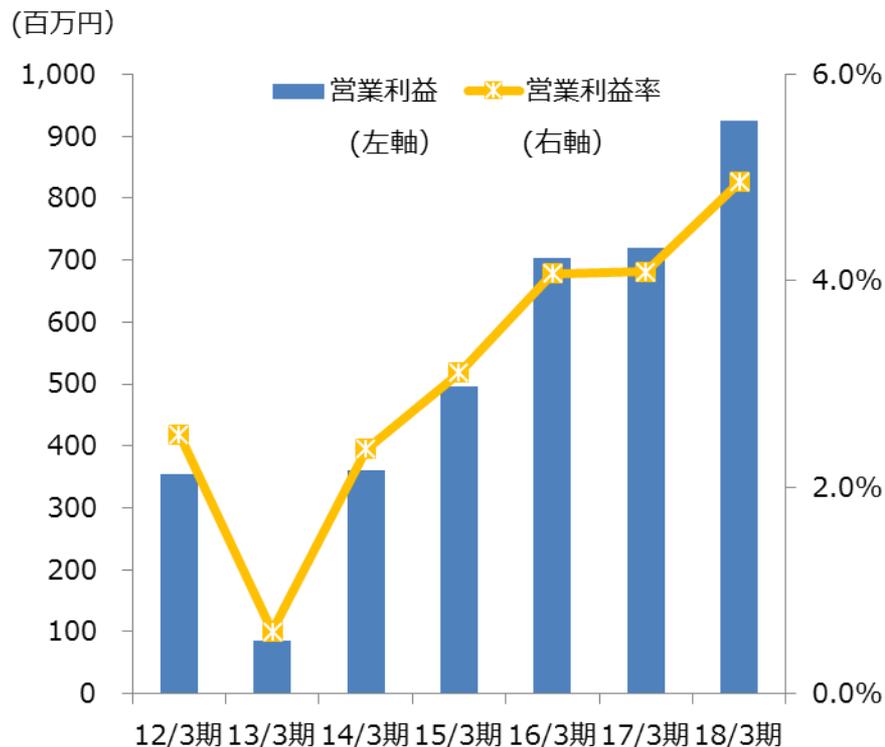
**ブランド力を向上させ100年企業に向けての足場固め**

# 営業利益と営業利益率向上の両立を目指す

## 基本戦略は自社商材の拡販とグループ経営力強化

### 現状認識

- 基本戦略の成果が徐々に顕在化。
- 3期連続で営業利益は最高益更新。

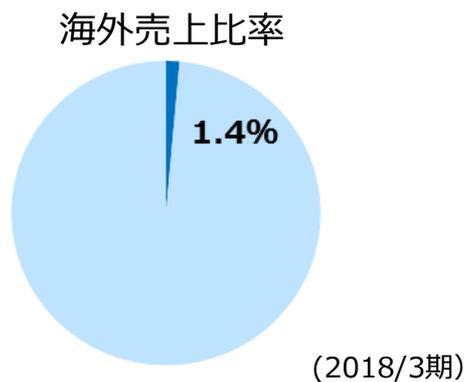


### 100年企業に向けた課題認識

- 低い海外売上比率
- オリジナル自社商材開発余力の低下
- 人財育成

(百万円)

	2018/3期	伸び率
海外売上高計	268	2.3倍
輸出	43	+16%
海外子会社	225	3.5倍



## 前期の重点施策

基本戦略の継続と更なる成長に向けた布石

- ✓ 海外プロモーション強化
- ✓ 中国生産拠点の最速整備

海外売上比**0.5%⇒1.4%**

福建龍和食品実業の子会社化

- ✓ 開発戦略室新設で  
提案営業のサポート強化

開発案件増加

- ✓ 経営企画室新設で  
連結経営力の強化

グループ最適化システム構築に  
向けたプロジェクト始動

注) 以降、福建龍和食品実業は、「龍和食品」

# 基本戦略の継続と構造変化への対応強化

営業利益率向上と利益拡大の両立追及は不変

## 収益拡大基本戦略

海外市場開拓に向けた  
取り組み強化

自社商材中心の  
提案営業強化

グループ経営力強化

## + 構造変化への対応強化

国内労働需給ひっ迫と  
働き方改革対応



- ・生産自動化対応の推進強化
- ・物流改革プロジェクト推進強化

## 開発戦略室の活用強化

## オリジナル開発テーマの創生

- ✓ 開発案件のスクリーニングとP D C Aサイクルの強化
- ✓ 顧客ニーズの収集強化
- ✓ 資材部と連携した原料の見直し

### 2018/3期の開発案件数は21%増加

【業務用・消費者向け開発品の一部】



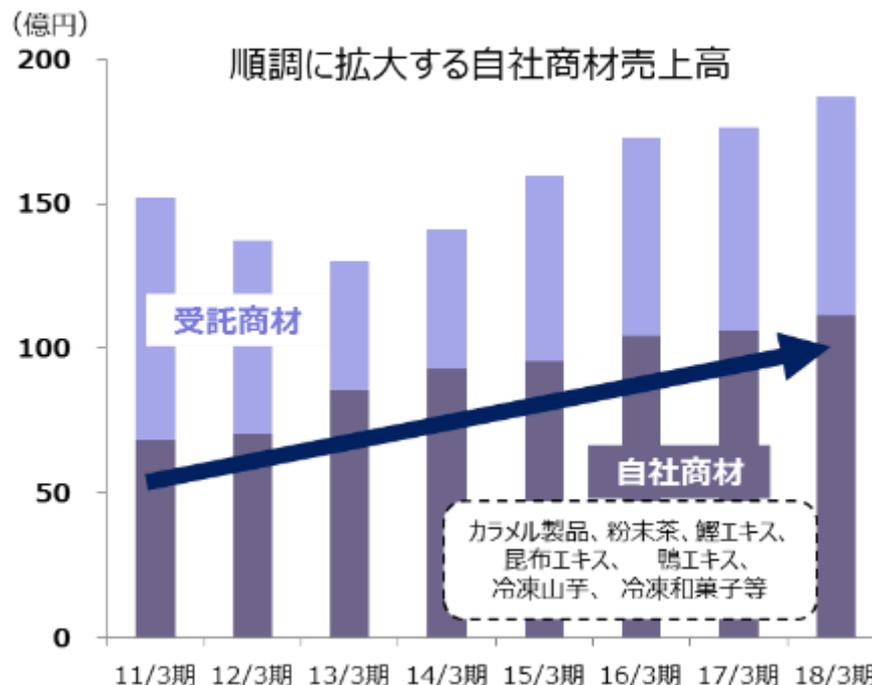
キャンデーチップ



オニオンスープ



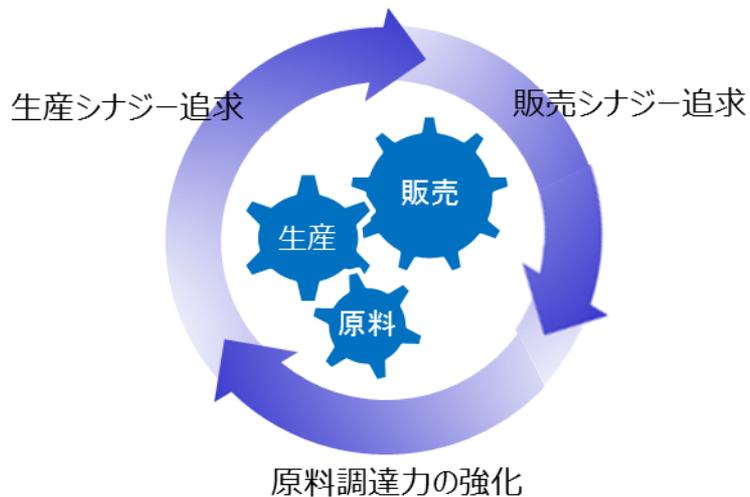
フルーツラテ



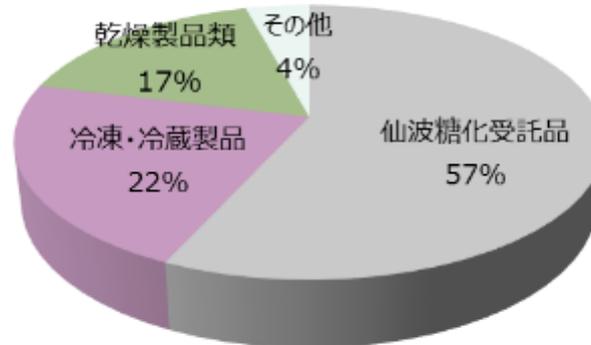
## 子会社化の目的

### 海外展開加速と食の安全管理体制強化

中国市場で追求するシナジー効果



2017/12期の売上構成



中国国内向け製品例



# 着々と進む中国子会社の移転計画

## 工場移転対応

- ①工場横断道路計画⇒福州仙波設備を龍和食品(当時関連会社)とベトナムの取引先に移管(製造委託)
- ②グループ製造拠点エリアの商業地区への転換を公表(連江県)
- ③当社グループの最適生産体制構築に向けて新工場移転計画開始。
- ④龍和食品の子会社化で当社主導の新工場建設へ。

### 工場移転予定地

現在地：福州長樂国際空港から車で約1時間  
移転予定地：現在地から北へ10km弱

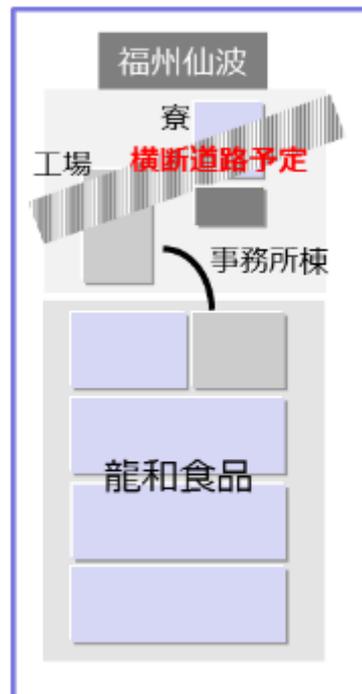
### 新工場

福州仙波  
&  
龍和食品

共同で当社グループの  
最適生産体制構築

本格稼働予定  
19年度1Q頃

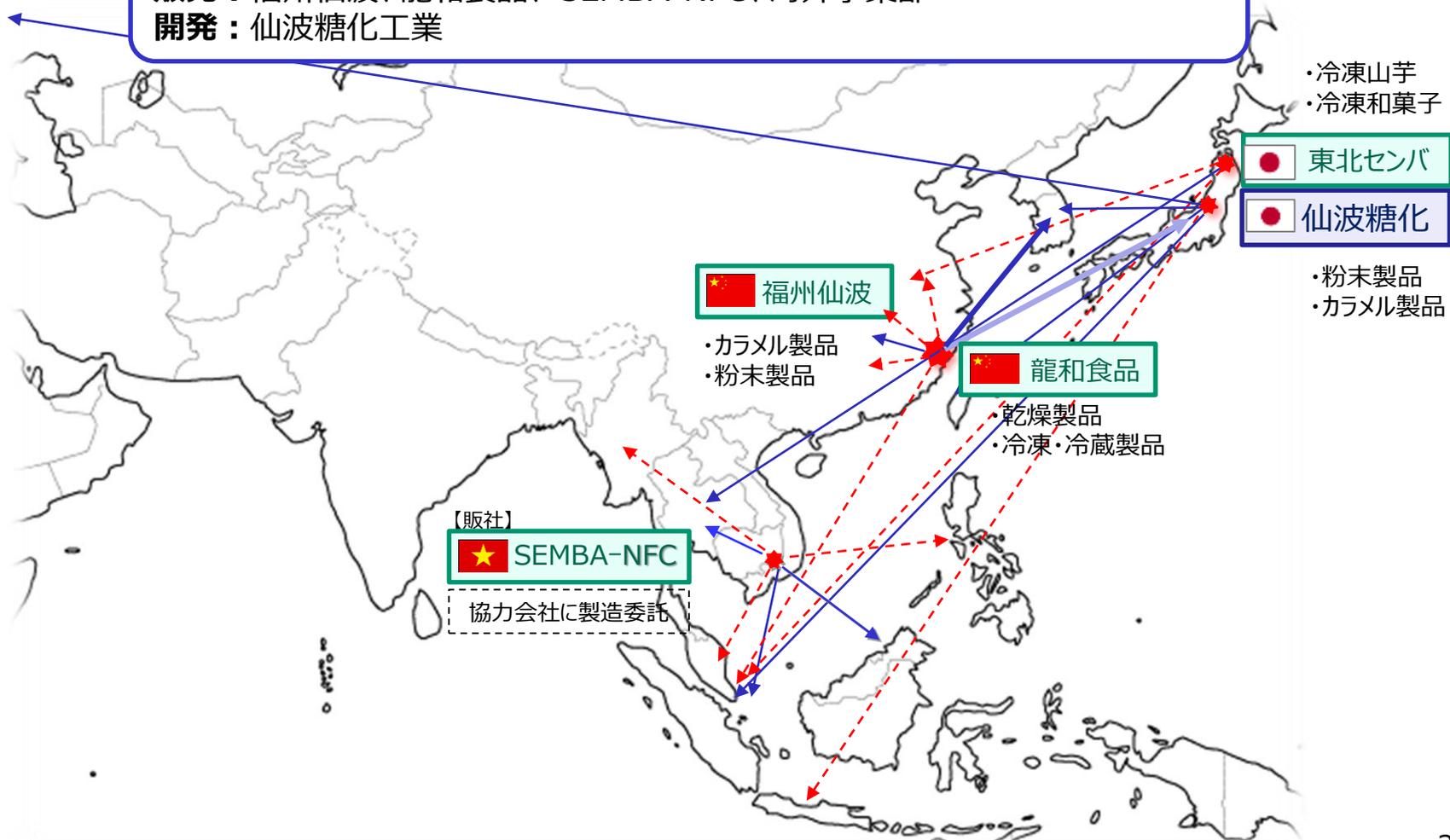
現在の工場立地エリアは工業地区から商業地区へ



## 海外戦略

### 日・中・ベトナム3拠点を軸に海外市場の開拓を推進

**製造**：福州仙波、龍和食品、ベトナム（協力会社）、仙波糖化工業、東北センバ  
**販売**：福州仙波、龍和食品、SEMBA-NFC、海外事業部  
**開発**：仙波糖化工業



## 開発戦略

## 和風とハラールがキーワード

### ハラール認証取得

#### 粉末茶

- ・粉末茶
- ・抹茶ラテ
- ・フルーツラテ



#### キャラメル製品

- ・着色用キャラメル
- ・キャラメルシラップ
- ・キャラメルクラッシュなど

### コーティング焙焼品の品揃え強化

キャラメルシラップを固化化したキャンディーチップの表面を加工し、溶け難くした製品。アイスクリーム向けなどに販売。



### ハラール認証申請準備中

#### 冷凍山芋



### 常温流通対応品の開発強化

#### 冷凍和菓子



## 販売戦略

## パートナーと共同での市場開拓

	海外プロモーション活動	展示品など
2015	ミラノ万博	ラテ茶など
	Fi ASIA 2015 (タイ)	アジアの食材見本市視察
2016	FHA (シンガポール) *1	冷凍山芋、冷凍和菓子、カラメルシラップ
	Thaifex (タイ) *2	冷凍山芋、冷凍和菓子、カラメルシラップ、インスタント茶、抹茶ラテ
	Food Japan (シンガポール) *3	冷凍山芋、冷凍和菓子、カラメルシラップ、インスタント茶
2017	タイの代理店主催の商談会	抹茶ラテ、カラメルシラップ、冷凍山芋、インスタント茶
	FABEX (日本)	抹茶ラテ、カラメルシラップ等
	Thaifex (タイ) *2	冷凍和菓子、冷凍山芋、カラメルシラップ、インスタント茶、抹茶ラテ
	Vietfood & Beverage (ベトナム)*4	抹茶ラテ、カラメルシラップ、冷凍和菓子
	Fi ASIA 2017 (タイ) *5	カラメルシラップ等
2018	タイの代理店主催の商談会	抹茶ラテ、カラメルシラップ、冷凍山芋、インスタント茶
	FABEX (日本)	抹茶ラテ、フルーツラテ、カラメルシラップ等
	Vietfood & Beverage (ベトナム)	抹茶ラテ、カラメルシラップ等
	Japan Expo 2018 (ミャンマー)	抹茶ラテ、フルーツラテ、冷凍和菓子等

\*1) FHA (シンガポール最大の食品総合展示会) \*2) Thaifex (タイ最大の食品総合展示会) \*3) Food Japan (日本食展示会)

\*4) Vietfood & Beverage AND ProPack (ベトナム南部最大の食品展示会) \*5) Fi ASIA (タイ) (アジア最大級の食品原材料の展示会)

## 海外市場での納入実績

取引継続と点を面に広げられるかがポイント

国名	商材	向け先
中国	どら焼き キャラメルシラップ	リテール 食品メーカー
シンガポール	どら焼き、 キャラメルシラップ、キャラメルクラッシュ 抹茶ラテ	日本食レストラン 食品メーカー OEM商材
タイ	冷凍山芋、 キャラメルシラップ、キャラメルクラッシュ 日本製のインスタント茶 抹茶ラテ (Semba-NFCブランド品) フルーツラテ	日本食レストラン、リテール 食品メーカー 日本食レストラン、リテール 日本食レストラン、リテール
ベトナム	キャラメルシラップ、キャラメルクラッシュ 抹茶ラテ (Semba-NFCブランド品)	カフェ、日本食レストラン リテール
マレーシア	抹茶ラテ、キャラメルシラップ	OEM商材
ブルネイ	抹茶ラテ	OEM商材
スペイン	粉末醤油	現地の食品メーカー
韓国	粉末茶	現地の食品メーカー
フィリピン	キャラメルシラップ	現地の食品メーカー
ミャンマー	フルーツラテ	リテール



(ベトナム現地スーパーでの陳列風景)

---

---

**(参考資料)**

---

---

# 沿革

- 1946年 10月 栃木県真岡市に創業、カラムルの製造販売開始。
- 1963年 5月 スプレー・ドライヤーを新設し、粉末食品の生産開始。
- 1967年 7月 茨城県水戸市に工場を新設。
- 1971年 11月 真岡工業団地に真岡第二工場を新設。
- 1972年 5月 太陽食品包装株式会社設立。(現：仙波包装株式会社)
- 1974年 3月 真岡第二工場の第2期増設完了。フリーズ・ドライ製品の生産開始。
- 1977年 9月 本社工場に造粒設備を新設。
- 1979年 9月 スプレー・ドライヤー及び造粒設備増強のため真岡第三工場を新設。
- 1988年 9月 水戸工場を真岡第三工場へ移転。
- 1990年 7月 株式会社東北センバを設立し、冷凍山芋の生産開始。
- 1991年 1月 福建龍和食品実業有限会社を共同で設立。
- 1994年 11月 資本金13億4千50万円に増資。日本証券業協会に株式を店頭登録。
- 2001年 8月 資本金15億50万円に増資。
- 2003年 11月 福州仙波食品有限公司（現：福州仙波糖化食品有限公司）を設立。
- 2006年 4月 真岡第二工場に昆布エキス製造工場を新設。
- 2006年 9月 真岡第二工場に粉末茶製造工場を新設。
- 2007年 4月 冷凍和菓子の生産開始。
- 2007年 8月 真岡第二工場に鯉節エキス調味料設備を新設。
- 2011年 5月 真岡第三工場スプレー・ドライヤーS&B。
- 2012年 11月 株式会社東北センバ大館新工場稼働。
- 2016年 10月 SEMBA-NFC設立。
- 2017年 4月 真岡第二工場焙焼製品新工場稼働。
- 2018年 2月 福建龍和食品実業有限会社を子会社化。

# 食品の「色・味・香・旨」を演出する食品素材会社

## こんなところに

- カスタードプリン、炭酸飲料・コーヒー牛乳 にも…



- インスタントコーンスープ にも…



- インスタントラーメン にも…



- 即席味噌汁 にも…



- 粉末茶 にも…

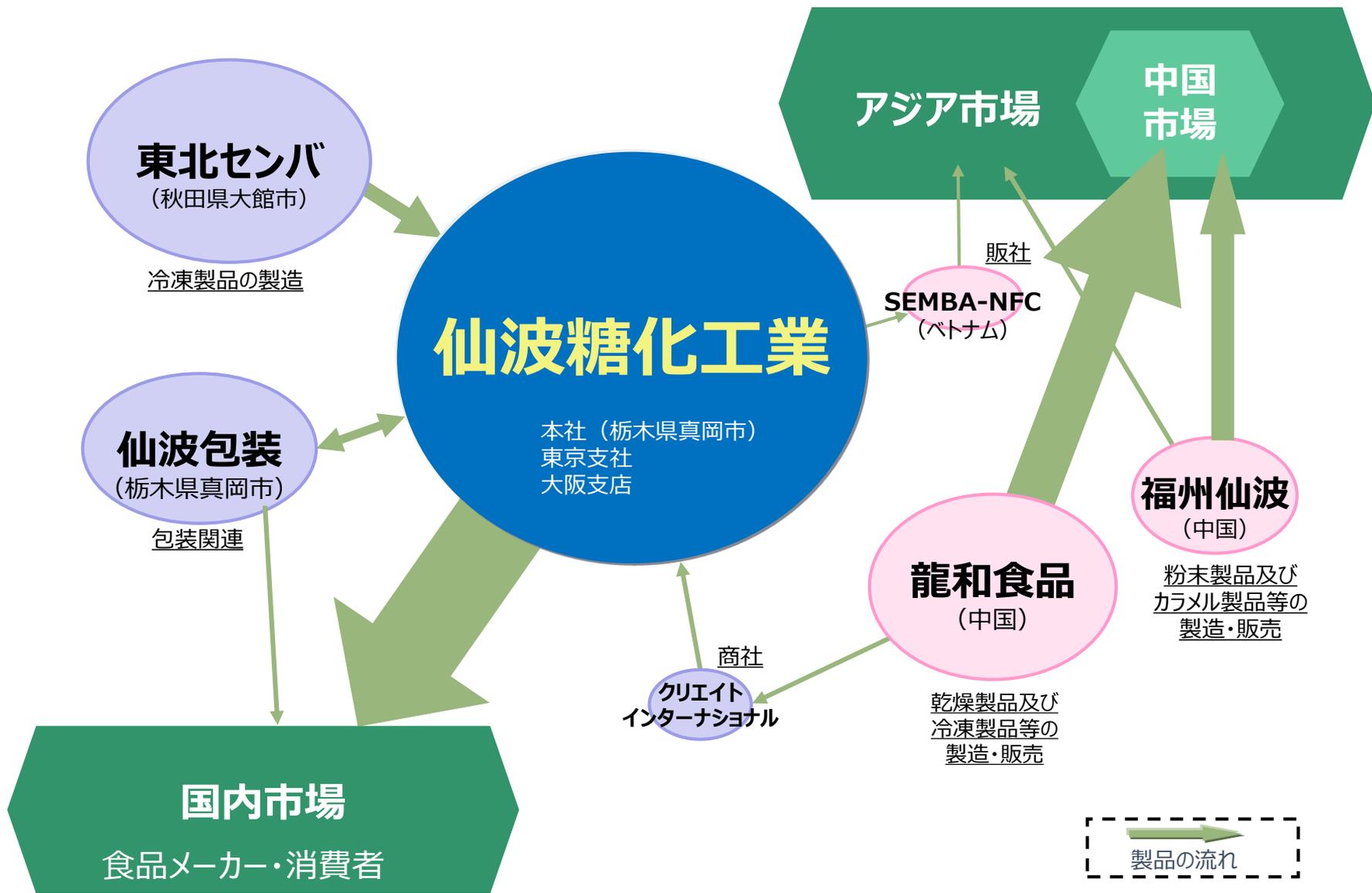


- とろろそば にも…



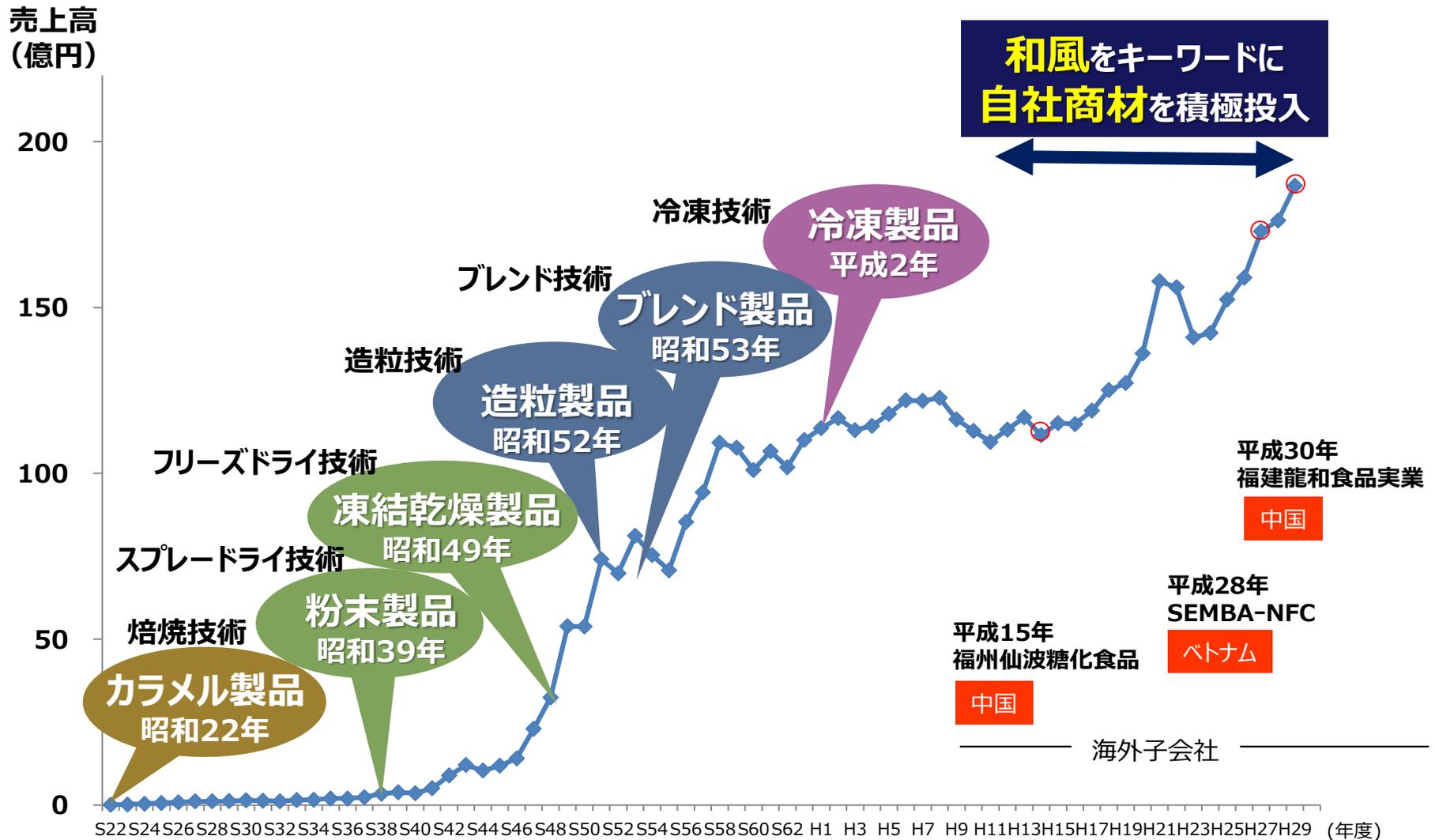
食品メーカー・消費者向け**自社商材**及び受託商材の製造・販売

# 当社グループ

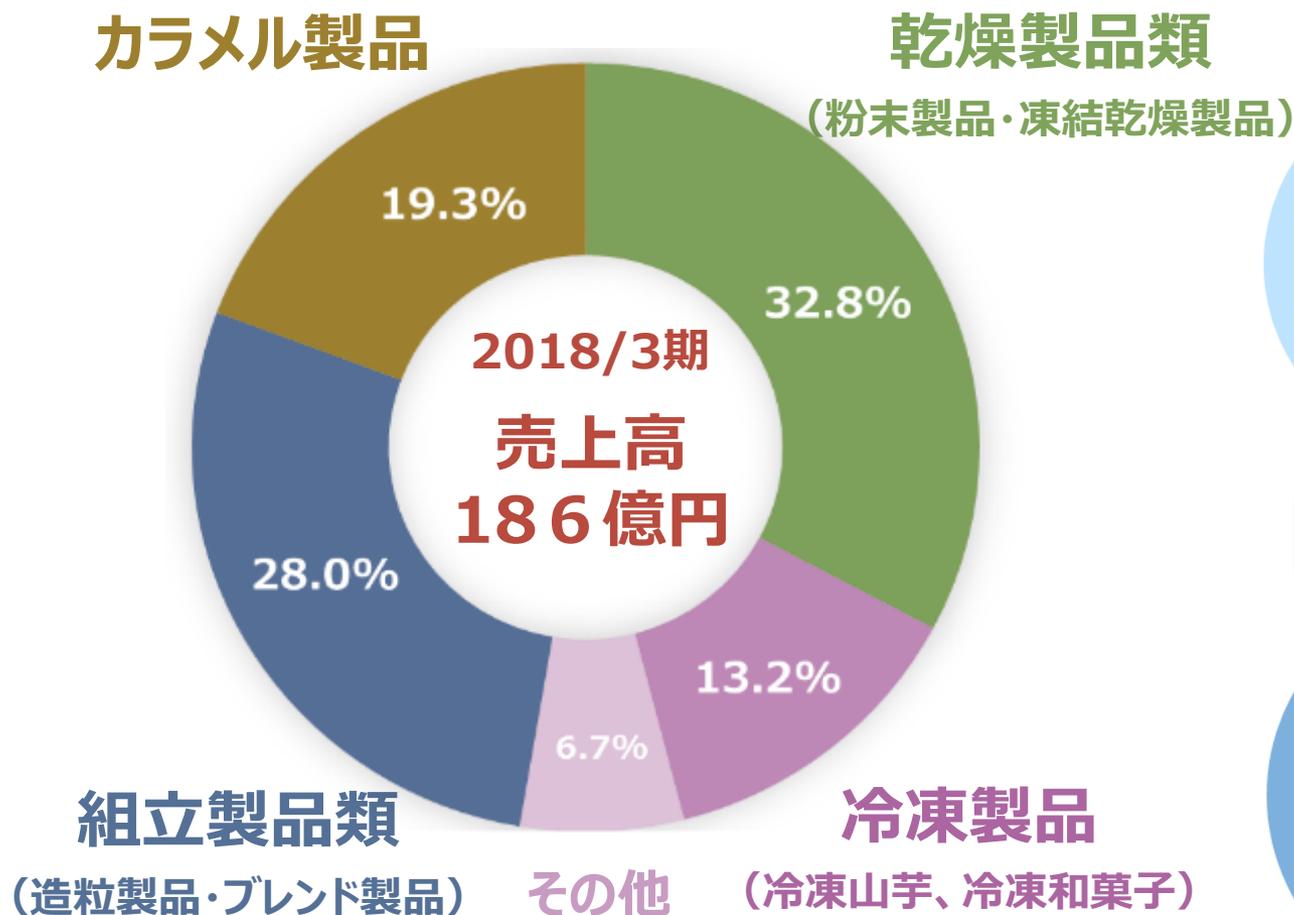


# 当社の業容拡大の歴史

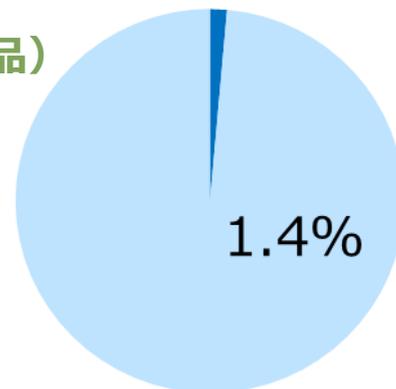
カラメル製品で創業し、近年は海外展開に注力



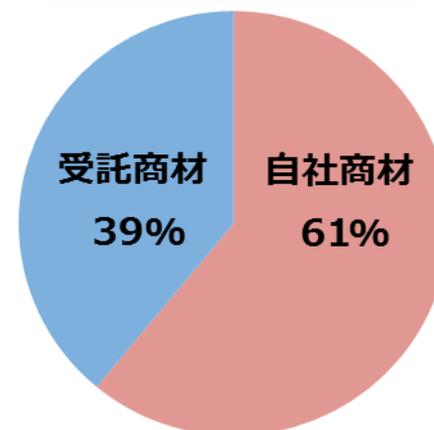
# 当社の売上構造(2018/3期)



海外売上比率



自社商材売上比率



# 顧客が差別化可能な新商材の開発

## 開発戦略室

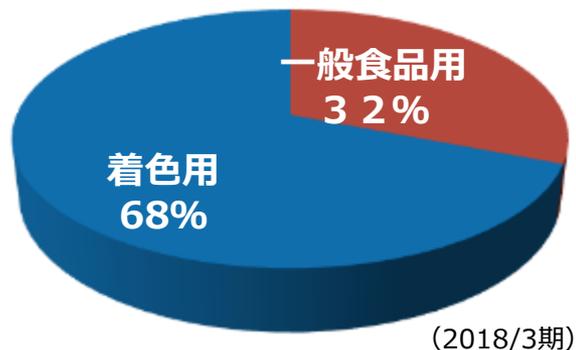
### 当社オリジナルの開発テーマの創生

- ✓ 開発案件のスクリーニングとP D C Aサイクルの強化
- ✓ 顧客ニーズの収集強化
- ✓ 資材部と連携した原料の見直し



- 創業商材。国内シェアはトップ。
- 高付加価値のデザート・シラップ向け新製品開発に注力。

用途別キャラメル製品売上構成



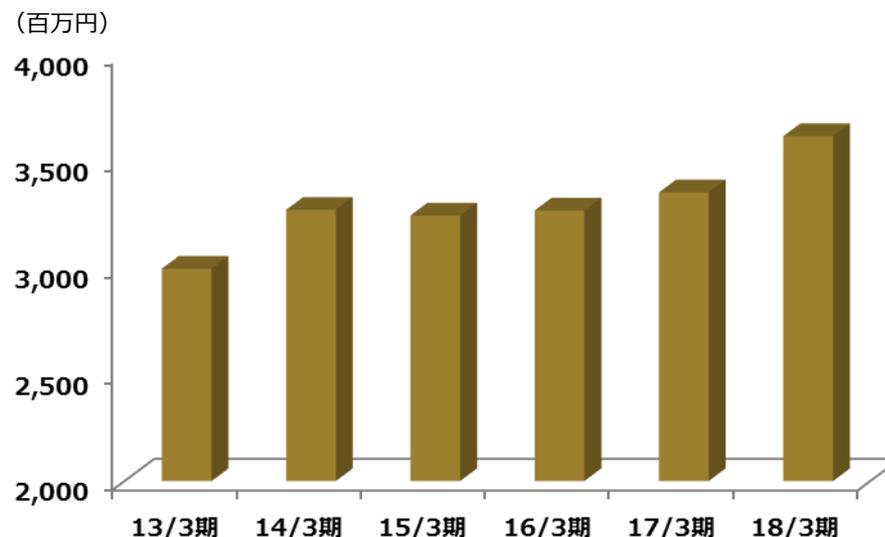
一般食品用

プリン等のデザート向けやココ味調味料向けが主力。バウムクーヘンやクリームブリュレ等の高級洋菓子向け需要が拡大。

着色用

清涼飲料やアルコール飲料、ソース、カレー等

キャラメル製品売上推移



ポイント

製造は、原料・ニーズで乾燥技術を使い分け

スプレードライ (SD)



「スプレードライ」は、液状化した原料を加熱空気で瞬間的に粉末化する技術。熱変性を受けにくい、特に熱に影響されやすい食品に有効で風味を生かします。乾燥工程が短く、大量生産に威力を発揮し、高品質で安定供給が可能。

フリーズドライ (FD)



「フリーズドライ」は、凍結させた原料を真空状態のもと、低温で乾燥させる技術。素材の色、味、香り、栄養を損なうことなく乾燥可能。水またはお湯を加えるだけで元の食品に復元できるという特長を持ち、保存性や簡便性に加えて、機能性の高い乾燥方法です。

ドラムドライ (DD)



「ドラムドライ」は、加熱した回転ドラム上に液状化した原料を薄く塗り、乾燥させる技術。高粘性原料の乾燥に威力を発揮し、製品はフレーク状、粉末状が可能です。同時にロースト風味をつけることもできます。

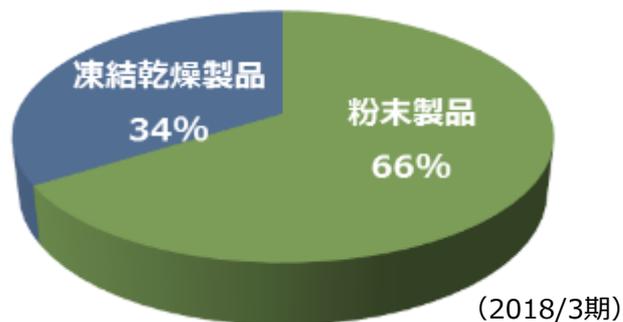
エアードライ (AD)



「エアードライ」は、熱風を供給し乾燥させる技術。素材のシュリンク現象を利用して、カール化や味の濃縮などで思いがけない食感や復元性をもたらします。

## 【事業概要】 【乾燥製品類事業】

- 売上高の約80%は食品メーカー向け。
- 粉末茶は業務用で業界第2位。
- 粉末製品、凍結乾燥（FD）製品ともに自社商材開発を強化。



### 自社商材群

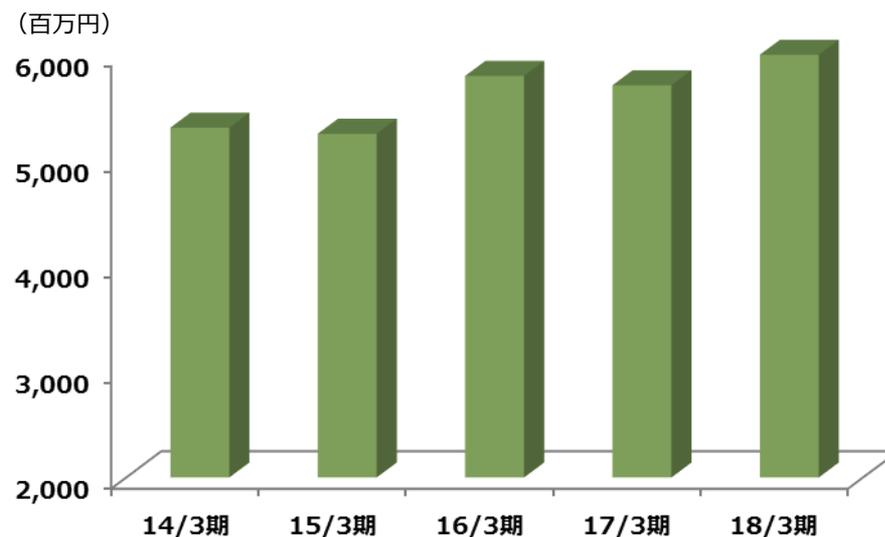
粉末茶シリーズ  
(日本茶、紅茶、健康茶)

鰹エキス

昆布エキス

粉末山芋

### 乾燥製品類売上推移



# 【消費者向け粉末茶類】

【煎茶】

聖 シリーズ



【ほうじ茶】



【煎茶】

稀 シリーズ



【ほうじ茶】



【健康茶】



(ねじめびわ茶)

【ラテ茶】



(宇治抹茶ラテ)



(ほうじ茶ラテ)

【玄米茶】



【麦茶】



【紅茶】



(デインブラ&アッサム)

## 【事業概要】

## 【冷凍製品事業】

- 冷凍和菓子は、**メディア向け市場を開拓**。
- 冷凍山芋は、**コンビニ向け開拓や新メニュー提案**で販売強化。

### 冷凍和菓子

- ・ 業務用として、**約50種類**を販売
- ・ **一部は消費者向け販売**。

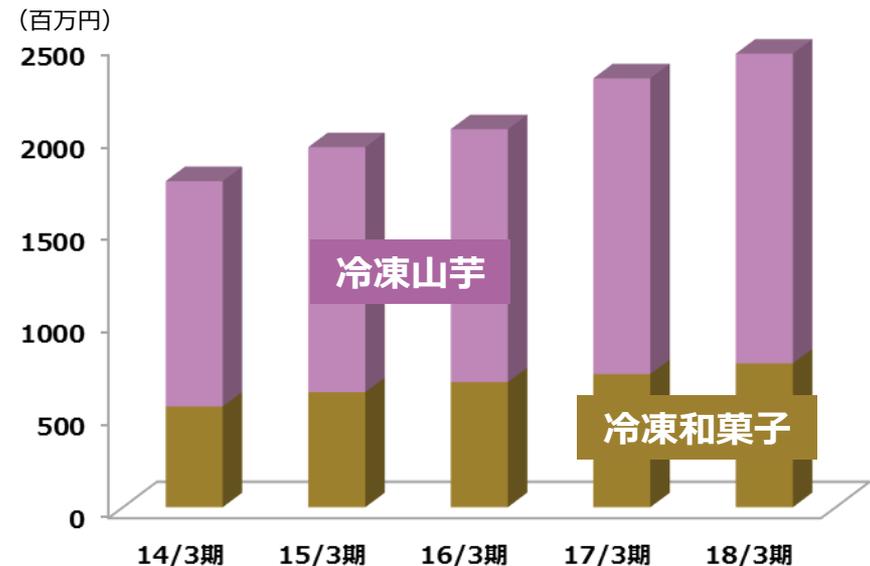


### 冷凍山芋

【一部は消費者向け販売】



### 冷凍製品売上高推移



ポイント

組立製品（造粒製品・ブレンド製品）製造は、「もう少しサッパリと」とか「もう少し甘く」などのお客様のニーズに応える**レシピカ**

造粒とは

流動層造粒装置を用い、粉末食品の「溶けにくい」、「流動性が悪い」、「吸湿性が強い」等の欠点を改善し、より使い易い最終商品へ仕上げる。

流動層造粒装置



ブレンドとは

円錐状ブレンダーを用い、各種原料を混合し、原料の持ち味を活かした粉末状調味料やインスタント食品を製造。

円錐状ブレンダー



## 【事業概要】

## 【組立製品類事業】

### 造粒製品

スープ類、粉末スポーツ飲料、ココア、調味料、健康食品等



### ブレンド製品

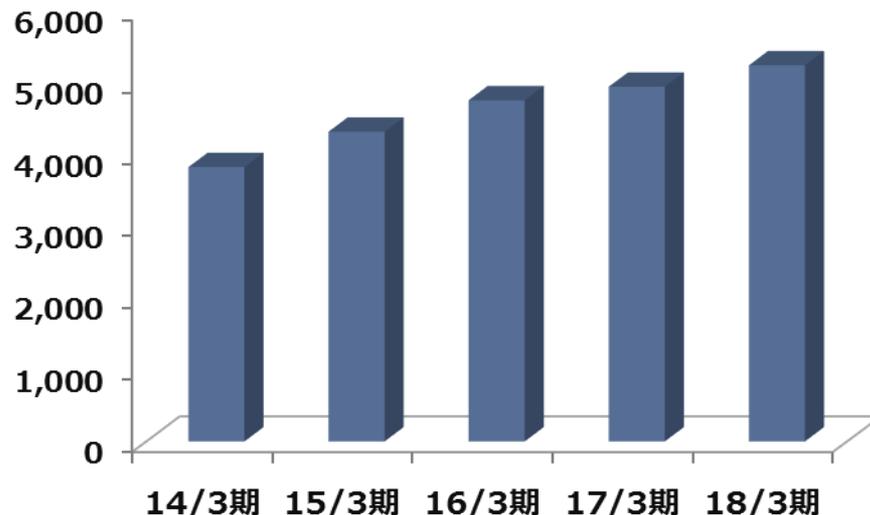
小麦粉ミックス、唐揚げ粉、みそ汁ソース、調味料、粉末エキス等



- ✓ ブレンド製品は、顧客ニーズに応える**レシピ力に強み**。
- ✓ 造粒製品は、受託商材のウエート高く、収益変動大。
- ✓ “**溶け易く**”などのキーワードで**提案営業を強化**。
- ✓ 現在は、**健康食品関連製品が牽引**

## 組立製品類売上推移

(百万円)

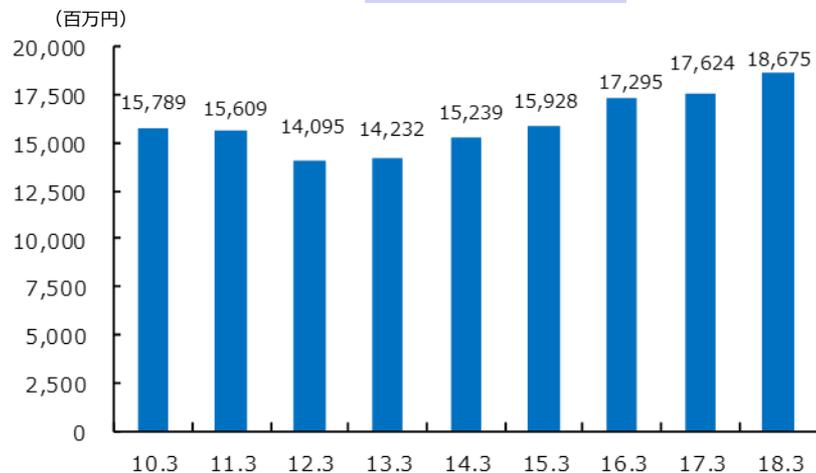


## 健康食品関連の売上構成

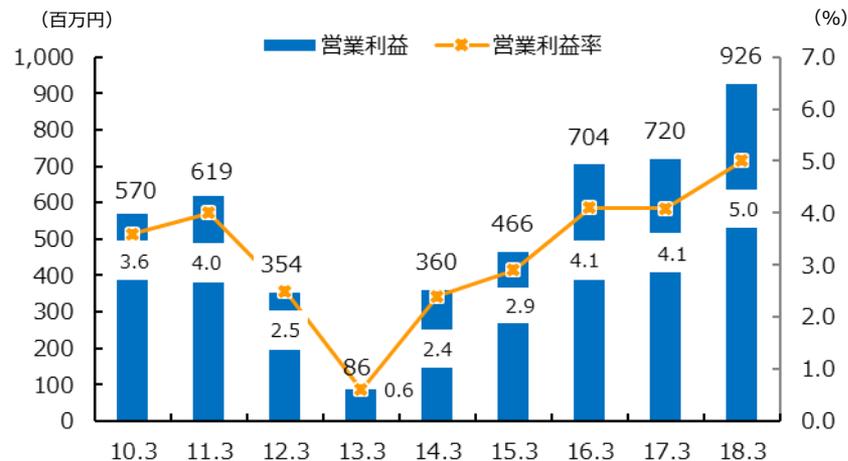


# 主要財務データ（1）

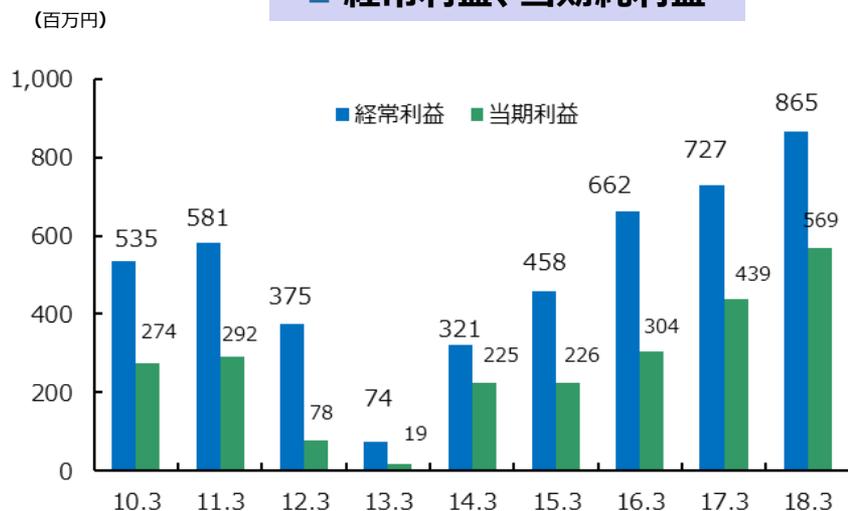
## 売上高



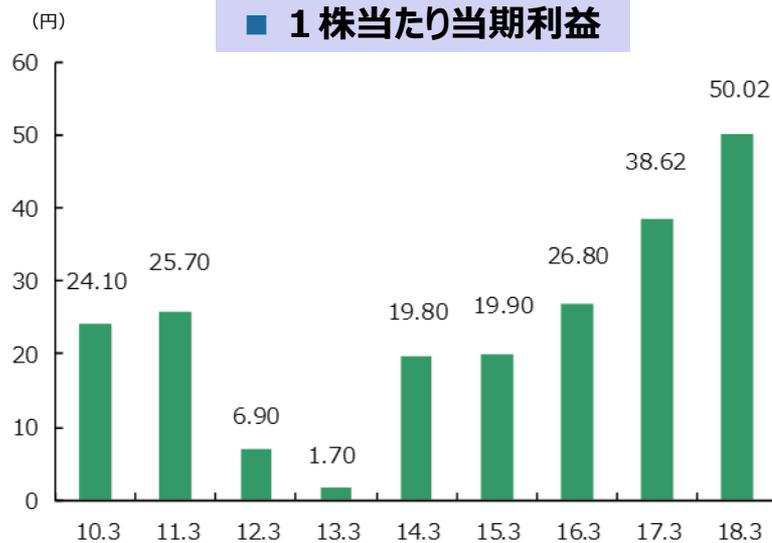
## 営業利益



## 経常利益、当期純利益

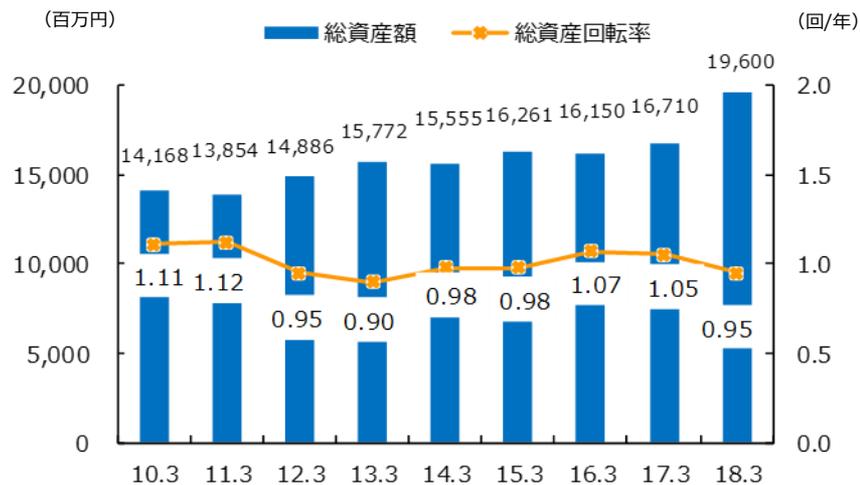


## 1株当たり当期利益

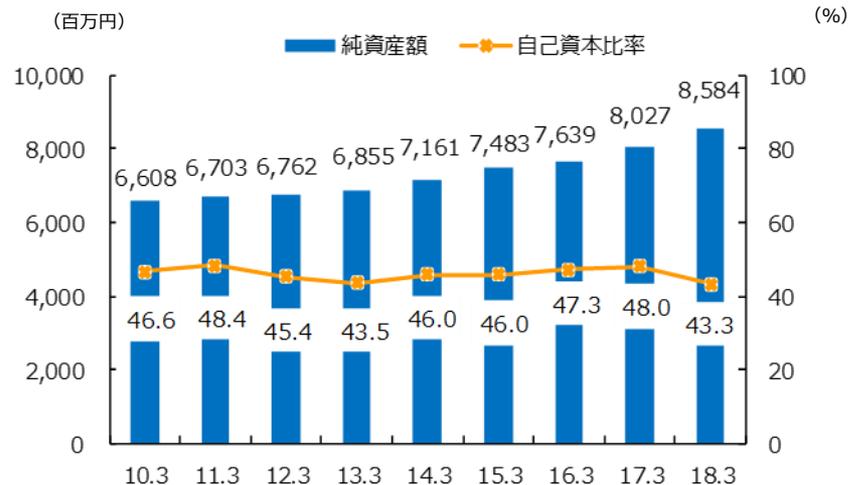


# 主要財務データ（2）

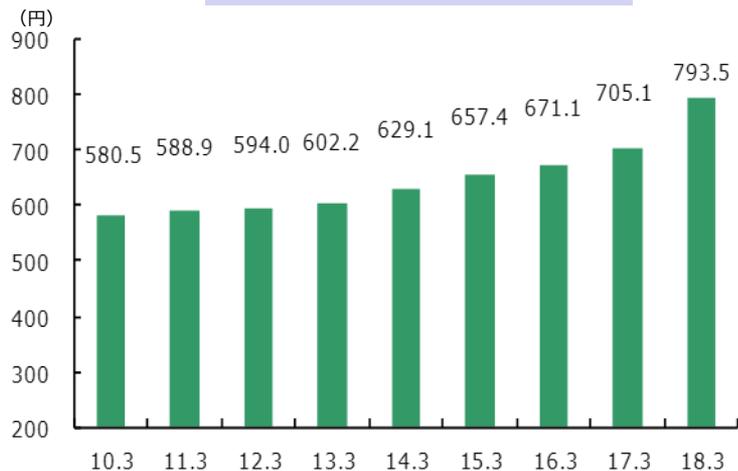
## ■ 総資産、総資産回転率



## ■ 純資産額、自己資本比率



## ■ 1株当たり純資産額



〈お問い合わせ先〉  
仙波糖化工業株式会社  
総務部 IR担当

TEL: 0285-82-2171

FAX: 0285-84-3283

E-Mail : [ir@sembatohka.co.jp](mailto:ir@sembatohka.co.jp)

当社IRサイトもご覧ください。 <http://www.sembatohka.co.jp/>

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。